

交通権学会 事務局報告

I 2016年度第31回研究大会・総会

期日：2016年9月17日（土曜日）、18日（日曜日）

会場：東北工業大学 八木山キャンパス

【第1日目】

統一論題「災害と交通権」

シンポジウム

座長：森すぐる（社会構想研究所）

シンポジスト（敬称略）：

上岡直見（交通権学会会長）

風呂本武典（広島商船高等専門学校）

小祝慶紀（東北工業大学）

香川正俊（熊本学園大学）

テーブルセッション

【第2日目】

自由論題報告

「国土交通軸整備と地域公共交通（案）―北陸新幹線金沢延伸・利用者の目線からの検証―」池田昌博（NPO 法人 KOALA）

「産業遺産と観光資源としてのローカル線維持の思考―中国山地の長大ローカル線を残す仕組み―」風呂本武典（広島商船高専）

「仙台市地下鉄東西線開業にみる業務委託の実態と課題」後藤智春（国土交通労働組合）

「規制緩和と安全性―貸し切りバスの事例より―」香川正俊（熊本学園大学）

「費用便益分析にもとづく地域鉄道の存続可否判断がもたらす諸問題」下村仁士（NPO 法人交通まちづくり戦略会議）

研究助成報告

「大規模ショッピングモールにおける公共交通活用の動向から見る持続可能性―地域社会との連携を中心として―」宝田惇史（元東京家政大学）

II 2016年度会員総会

期日：2016年9月17日（土曜日）

会場：東北工業大学 八木山キャンパス

(1) 2015年度の活動について

- 第30回研究大会・総会（2015年7月19～20日、早稲田大学 早稲田キャンパス）
- 学会誌「交通権」第32号、第33号の発行
- ニュースレター「トランスポート21」の発行（計4回）
第60号（2015年8月20日） 第61号（2015年11月20日）
第62号（2016年2月15日） 第63号（2016年7月4日）
- 大会・総会の案内、参加確認の発送
- 交通権学会社会貢献賞については、理事会で廃止を決議した

(2) 部会関連

- 関東部会（2015年10月17日（土）：早稲田大学、2016年1月23日（土）：早稲田大学、4月16日（土）：市民運動全国センター）
- 中部関西部会（2015年11月20日（金）、2016年9月3日（土）：いずれも労働会館）
- 九州沖縄部会（2016年3月12日（土）：熊本学園大学）

(3) 理事会関連

2015年度の理事会開催について、下記のとおり事務局から報告があった。

- 第1回：2016年1月（メーリングリストを利用した持ち回り理事会）
議題 会誌のオンライン化について、ニュースレター廃止とメールマガジン開始について、メール会員創設について、退会者の承認について
- 第2回：2016年4月（メーリングリストを利用した持ち回り理事会）
議題 熊本地震に伴う会誌編集担当者の変更について、入会申込者の承認について
- 第3回：2016年9月（東北工業大学）
議題 2015年度事業報告と決算・2016年度事業計画と予算について、入会申込者と退会届出者の承認について、事務局長の辞任と新任事務局長の選任について、今後の学会活動の活性化・発展について、ニュースレターの電子化・発行体制の見直しについて、2017年度研究大会について、学会誌の発行体制について、社会貢献賞の廃止について、研究奨励基金制度について

2. 入退会（敬称略）

(1) 新規入退会者

入会 山野克明、田村昭彦、兒玉悠利、田村伊知朗

退会 中川利彦、石原猛男、山中喜七、戸崎肇

(2) 会員数

正会員 181、学生会員 13、賛助・団体会員 9、名誉会員 2 計 205 名

3. 決算報告について

① 2015年度決算について

2015年度は会費請求が行われなかったため、予算と比べ会費収入が著しく少ないこと、また当座の資金については問題ないことが近藤理事から報告された。

② 2014年度決算の誤りについて

2014年の決算について、現金の帳簿処理に起因する決算の誤りが判明した。そのため、過去にさかのぼって決算を修正することが、近藤理事から説明された。

4. 研究奨励助成（2015年度）

宝田惇史会員に与えられ、大会にて研究成果報告を発表した。

Ⅲ 2016年度の活動について

1. 2016年度活動計画

（1）研究関連

2016年度研究大会・総会（2016年9月17日（土）、18日（日）、東北工業大学）

2017年度研究大会・総会（2017年7月8日（土）、9日（日）立命館大学）

各ブロックの部会活動を行う。

（2）研究奨励基金（2016年度）：該当なし

（3）事務局長の交代と事務局の移転について

大塚理事の退任に伴い、下村理事に交代することとなった。あわせて、事務局も移転するものとした。

2. 2016年度予算案

近藤理事から説明があり、賛成多数で承認された。

2016年度予算については、2015年度の会費請求が行われていないため会費請求を2回に分けて行うこと、また会費収入を例年より少なく見積もることとされた。

3. その他

学会活性化について、学会運営が厳しい状況になっていることを踏まえ、理事会で議論されていることが、下村理事から説明があった。今後は、事務局を窓口として活性化施策の立案・推進を行うこととされた。

また、会員各位に対して、学会活動への積極的参加の呼びかけが、上岡会長から行われた。